

共通科目

科目番号		授業科目名	物語理論	単位数	2	履修区分	選択科目B
集中		教員名	大塚英志	対象学生	映像研究科全専攻		
授業のテーマ							
授業計画及び内容	<p>「STAR WARS」の脚本制作に神話学者のキャンベルが『千の顔を持つ英雄』で示した神話の構造が用いられていることは余りに有名だが、文化人類学及び文学理論としての物語論は八〇年代にその知的流行を終えた後、ハリウッド映画ではシナリオ創作の理論として再構築されている。講義はロシアフォルマリズムに始まる物語論を概説しつつ、物語が一定の文法的秩序からなることを「物語の構造に従って創作する」課題を介して身につける。</p> <p>また、大塚が自作の映画化企画でリアルタイムで経験しているハリウッドの「デベロップメントステージ」の実情についても概観する。</p>						
教材・参考書	必要に応じ、授業時間内で紹介する。						
成績評価の方法	出席状況およびレポートの内容によって評価						
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

科目番号		授業科目名	現代芸術論	単位数	2	履修区分	選択科目B
後期	水 1	教員名	松井 茂	対象学生	映像研究科全専攻		
授業のテーマ	<p>「現代芸術」を自明に存在するものと考えずに、「現代」を問い「芸術」を問うことを通じて、「現代芸術論」を検証することがテーマである。具体的には、作家個人、作品個別の事例よりは、メディア技術の発展や社会動向との影響関係を考察することから「現代」や「芸術」を考察する。第2次世界大戦後の時代状況と芸術をめぐるコンテクストを再検討し、制作、研究に活かせる、意味批判能力(メディア・リテラシー)を身につけたい。</p>						
授業計画及び内容	<p>授業内容としては、以下の3つのテーマを基盤としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1950、60、70、80、90年代のテレビ番組を通じて、マス・メディアの映像表現の変遷を検証する。 ・マス・メディアをインフラストラクチャーとした戦後の社会環境における芸術の意味を検証する。 ・近年の展覧会を社会、歴史、美学的観点から議論する(担当キュレーター等をゲストとして随時招く)。 						
教材・参考書	教科書、参考書は適宜、配布ないし指定する。						
成績評価の方法	出席数、履修態度、課題提出の内容を総合的に評価する。						
履修上の指示事項	授業の進捗状況等により授業計画及び内容は変更することがある。						
備考(オフィスタワー)	授業後、もしくは、メール(shigeru@td5.so-net.ne.jp)で問い合わせること						

共通科目

科目番号		授業科目名	マンガ論	単位数	2	履修区分	選択科目B
集中		教員名	椎名ゆかり	対象学生	映像研究科全専攻		
授業のテーマ	日本及び海外における日本マンガの需要の変遷						
授業計画及び内容	<p>21世紀に入り、海外における日本のマンガに対する人気はマスコミ等ではしばしば報じられ、それと呼応するようにマンガは日本の誇り得る文化として語られることが多くなった。</p> <p>しかしマンガは日本国内で昔からこれほど文化的地位が高かったわけではない。</p> <p>本講義では日本のマンガの歴史を振り返るとともに、日本の社会の中でマンガがどのようなものとして語られてきたのか、そして海外での人気がどのようにマンガへの日本国内の認識に変化を与えたか等、社会的、文化的受容の変遷にも焦点を当てて、マンガというメディアの理解を深めることを目的とする。</p>						
教材・参考書							
成績評価の方法							
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

科目番号		授業科目名	写真史・写真論	単位数	2	履修区分	選択科目B
集中		教員名	甲斐 義亮	対象学生	映像研究科全専攻		
授業のテーマ							
授業計画及び内容							
教材・参考書							
成績評価の方法							
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

共通科目

科目番号		授業科目名	メディア表現技法	単位数	2	履修区分	選択科目B
前期	水 1	教員名	木村稔、馬場一幸、村上寛光	対象学生		映像研究科全専攻	
授業のテーマ		複合的なメディア環境での研究制作活動の基盤づくりとして、メディア表現の基礎について講義と演習を通して学ぶ。					
授業計画及び内容		<p>文字の発明から印刷技術の誕生や写真、映画、アニメーションなどについての歴史的な考察とともに、その技術や表現技法の解説や思考訓練的な演習などを行う。</p> <p>主なトピックとして 印刷技術の誕生／文字を知る／映像表現と文字／写真技術と表現／編集する／表現と場／撮影照明技術／音を考える／アニメーション表現技法</p>					
教材・参考書		参考となる文献等は、授業の中で紹介します					
成績評価の方法		出席および課題提出					
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)		平日午後					

科目番号		授業科目名	映像音楽論	単位数	2	履修区分	選択科目B
後期	木 1	教員名	長瀧寛幸	対象学生		映像研究科全専攻	
授業のテーマ		映画館から携帯まで、現在の私達を取り巻く映像／音響環境は多岐に渡るようになった。「映像音楽論」では、「映像、そして音響テクノロジーの進歩が音楽に与えた影響」をテーマに、映像作品に付帯する音楽を作品ごとに分析、検証し、「映像音楽」の未来について考える。					
授業計画及び内容		<p>授業は講義と教員による実演を中心に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽録音／ミックス技術の歴史 ・ 音楽家研究／作品分析 ・ 映像作品に音楽をつける作業の実演、分析 					
教材・参考書							
成績評価の方法							
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							

共通科目

科目番号		授業科目名	国際映画文化論	単位数	2	履修区分	選択科目B
後期	集中	教員名	キャレン・セバンズ	対象学生	映像研究科全専攻		
授業のテーマ							
授業計画及び内容		<p>Course philosophy and goals</p> <p>This course is designed to provide students with an immersive English-language environment in which to hone skills and tools that will aid them in their filmmaking careers, in Japan and/or overseas. We will focus on improving analytical skills, sharpening storytelling techniques, enhancing creative expression and broadening their international horizons. By the end of 20 hours, each student will have completed [a detailed pitch/a detailed international release strategy] which can be applied to real-world [pitches/sales], and created a format that can be reused whenever the need arises.</p> <p>日本または海外で、自分の映画キャリアを支援するスキルやツールを磨くため、学生に英語環境を提供します。学生たちは、分析能力を向上させる話術を磨き、創造的な表現方法を身につけ、その国際的な視野を広げること注力していきます。20時間の終わりまでには、各学生は、[ピッチ手法]を現実世界に適用していきます。その結果、[ピッチ]を通じて、必要となったときに再利用できる完成したフォーマットを自ら作成します。</p> <p>なお授業は英語がほとんどできない学生でも理解できるように工夫されています。</p> <p>開催時間 4/9、23、5/14、21、28 の2～4時限</p>					
教材・参考書							
成績評価の方法							
履修上の指示事項							
備考(オフィスタワー)							